

犯罪のない明るい社会に

「社会を明るくする運動」作文コンテスト入賞作品

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。市でも7月を強調月間とし、さまざまな啓発運動を行ないました。その啓発運動の一つとして、市内の小中学校の児童生徒を対象に、運動の趣旨をテーマにした作文を募集しました。その結果、最優秀賞に西合志第一小学校の正司早希さんと西合志中学校の東明穂さんの次の作品が選ばれました。

●問い合わせ先 総務課 交通防災班(合志庁舎) ☎(248)1112

心の温もりを感じて

西合志第一小学校6年 正司 早希

私の思う、心の温もりとは、家族の団らん、そして友達と過ごす時間です。

私の家族は八人家族です。ひいおじいちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん。お姉ちゃん二人です。

お父さんも、お母さんも、いつも私たち姉妹の事を心配して、話を聞いてくれます。

だから、家族といると、すごく安心します。大好きな人といると、いやな事を忘れさせてくれます。

でも、私は最近とても不安です。テレビや新聞を見ると、毎日のように犯罪や事件の事が報道されているからです。家族はいつも、そんなニュースを見る

たびに、「どうしてこんな事をするんだろう?」

と言っています。

私は、その人達がさみしいから、人に相談できなくて一人でかかえ込んで、苦しくなったからそんな事をするんだと思います。

もし、犯罪を犯した人に、一人でも相談できる相手がいれば、その人は、犯罪をしなかつたと思います。その人はいつも、何かと戦っていたんだと思います。

だから私は人と関わる事は大切だと思います。

私の悩みはいつも友達が相談ののつてくれます。友達はいつも、「大丈夫だ

よ。」と声をかけてくれます。そうすると、すごく安心します。

私の友達はずっと優しい人ばかりです。だから私は毎日、安心して暮らせる事ができます。

そして、私はこれからも、ずっと安心していける社会や環境をつくっていきたいと思います。

そのために私は、少しでも犯罪や事件を起こす人が減ってほしいです。自分のためにも、人のためにも、私は犯罪や事件をしないでほしいと思います。

私は少しでも明るい社会になってほしいです。

「社会を明るくするためには」

西合志中学校3年 東 明穂

今、日本では「殺人・暴力事件」が毎日のようにとりあげられています。罪のない人々が犠牲になっていきます。どのようになれば明るい社会をつくる事が出来るのでしょうか。

社会を明るくする運動とは、「すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会をする運動」です。しかし、殺人や暴力事件を起こした人が身近にいれば、私は近づくとはいえないと思います。それは「何を

するか分からない」「怖い」という気持ちがあるからだと思います。私だけではなく他にもこのように感じている人はいると思います。しかし、このままでは絶対に犯罪は減りません。それはなぜかというところ、その人のことを受け入れてくれる人がいないからです。若い人たちが犯罪を犯す理由の中に、「居場所がない」という意見が多いという事を聞きました。

「親から見捨てられ、居場所がなくなり、

やけになつて人を殺した」というニュースを聞きました。今はちょっとしたこと

が原因で薬に手を出したり罪を犯してしまう。誰か止めてくれる人が身近にいればおこらなかつたということはあると思います。「助けてほしい」「止めてほしい」と心の中では思っていると思います。

最近良く耳にする「死ね」「消えろ」という暴言。私も言ってしまうことがあります。友達とケンカ、親との対立、人にイライラすると言葉で相手を傷つけてしまっています。言葉というのはすごく簡単なことだけど、どれだけ相手が傷つくのかを考えなければいけない。このようなことでもきつかけになつてしまふのです。

犯罪をなくすためにはどうすればいいのか。警備の人を増やし、事前に防ぐ、処罰を厳しくし、取り締まりを強化するという方法もあるとは思いますが。しかし、それだけで減ることはありません。「犯罪をする人を生みださない家庭づくり」や「立ち直ろうと決意した人々を社

会で受け入れることも大切です。

大切な人をなくしたときの気持ち、悲しみは私にはまだ分かりません。しかし、「なくなつてしまつてから」では遅いのです。いつ事件に巻き込まれるか分からない、自分が起こしてしまうかもしれない……。人間一人一人の存在というものはとても大きく誰も悲しまない人なんていません。いてくれるだけで良いんです。そのことを一人一人が感じ、命の大切さをきちんと考えることが大切です。

今、私に出来ることは、「いけない事はいけないと注意できるようにすること、

「今」この一瞬を大切にすること」です。そして、この世の中から犯罪をなくすために、一人一人が考え方を改め直し、そばにいてくれる人一人一人を大切にすることが大切だと思います。少しずつ犯罪がなくなつて「明るい日本・世界」になつてほしいです。

「今」この一瞬を大切にすること」です。

そして、この世の中から犯罪をなくすために、一人一人が考え方を改め直し、そばにいてくれる人一人一人を大切にすることが大切だと思います。少しずつ

犯罪がなくなつて「明るい日本・世界」になつてほしいです。

「今」この一瞬を大切にすること」です。